

竹の子だより

第92号 平成25年4月27日(土) 発行

発行責任者 坂井 正志

編集 明星会広報委員会

発行 社会福祉法人 明星会

〒250-0052 神奈川県小田原市府川 752-5

TEL 0465-32-7740 E-mail info@takenokogakuen.jp

FAX 0465-32-7741 HP <http://www.kanagawa-id.org/takenoko/>

※ 利用者の個人名・写真の掲載についてはご本人とご家族の了承を得ておこなっています。



今年もたくさんの“楽しい”
思い出を残せますように....。

新年度のあいさつ



理事長
安藤 進

今年は、社会福祉法人明星会設立二十年の節目の年になります。

創設者の安藤正夫氏は、障害者やその家族の現状を見て、何かお手伝いできないかと思い、土地と私財を投じて「竹の子学園」施設建設に着手したのが平成五年でした。平成六年四月一日スタートした時は、入所者六十名に対し和田園長はじめ支援員、看護師、調理員等のスタッフ三十名で開業いたしました。

この間、社会福祉法人を取巻く環境や制度は大きな変動期に入りしました。平成十二年の社会福祉基礎構造改革から始まり、平成十五年施行された支援費制度は、「措置から契約へ」障害福祉サービスの根本的な制度改正でした。平成十八年度の「障害者自立支援法」を経て平成二十五年からは「障害者総合支援法」が施

行されます。

障害者福祉制度がめまぐるしく変わるなか、当法人の基本理念「常に利用者の目線に立ち、利用者が安心して安全に過ごせる事業を行います」に沿った事業を展開し、利用者への支援サービス向上に努めることはもとより、利用者が地域に出て日常生活や社会生活を安心して安全に過ごせるような共同生活支援・共同生活介護事業を積極的に取組んでまいります。

二十五年度の事業計画では、グループホーム二箇所を開設し、障害者十二名が地域移行いたします。生活困窮者の生活支援事業として学習支援・居場所づくり事業を行います。利用者が住み慣れた地域に出て、自分らしくいきいきと生活するには、地域の皆さまや家族の皆さまのご理解とご協力が欠かせません。そして福祉関係者、ボランティアの皆さまのご協力を心からお願い申し上げます。



施設長
坂井 正志

平成六年にスタートした竹の子学園が二十年目に突入しました。当たり前ですが、思い起こせばいろいろなことがあった十九年でした。

「事業を長年続けられ、いろんなことが起きる。あたりまえ体操。」新年度に向けてと言うテーマで原稿を書いたばかりなのにまた新年度に関する原稿依頼がきて非常に悩んだ結果です。新聞の記事を毎日書く人やブログをまめに更新する人を尊敬します。

領土問題、エネルギー問題、TPP問題等世間を騒がせていますが、賛成・反対それぞれの意見は正しいのにすり合わせが難しいのは、支援にも当てはまると思います。領土問題では、棚上げして、未来の知恵にまかせようという解決策？もありましたが、支援はそういうわけにはいきません。目の前の問題を悩みながら一つずつ解決していかなければなりません。みんなで悩むと少しずついい方向に向かっていくのは不思議なものです。これからまたたくさん悩もうと思います。利用者の笑顔が見たいから。



事務長
磯崎 敦子

社会福祉法人明星会は、平成六年の竹の子学園の開所以来、今年度で二十年目の年を迎えました。

その節目の年にあたり、今まで漠然としておりました経営計画を三カ年計画として作成いたしました。従来、社会福祉制度の度重なる法律改正に追従する運営をして参りましたが、今後は、明星会の将来を展望した経営指針を確固たるものとし、長期的な計画に基づいて法人運営をして参ります。まず、今年度からスタートする第I期三カ年計画は、以下のとおりです。

- ①より多くの方のニーズにこたえられる障害福祉サービスの増設
 - ②グループホームの増設（今期は定員五名程度を最低一棟）
 - ③児童を対象とした放課後等デイサービス事業所の新設
 - ④職員の研修制度の確立・人材育成
- 明星会をご利用される皆様及び全ての職員の自己実現のお役に立てるよう、私自身、邁進・研鑽して参ります。



生活支援課長
小島 彰則

雨上がりの朝、駐車場の土手に目をやるとほんのり黄色。手と靴をドロドロにして手のひら一杯のふきのとう。ふきみそは苦みが残る春の味です。

今年も一年がスタートしました。それに合わせて竹の子ホーム「クルールⅡ」もスタートを切りました。『地域移行』を合言葉に、竹の子学園より男性五名、女性四名の方達が『地域で楽しく暮らしたい』夢をかなえる為に、新生活を始めました。昨年五月より準備を始め、ご本人・後見人・ご家族と確認を取りながら、新ホーム移行へと結びつく事が出来ました。楽しみにされてた方、不安で一杯な方と気持ちには様々でしたが、買物や準備を進めるうちに気持ちは「クルール」と固まったようでした。私たちも気持ちは同じですが、各事業所の配置も整い、皆でさらに前進しようと気持ちは前向きです。「クルール」を軌道に乗せ、これからも利用者の目線に立った支援を心掛けていきます。

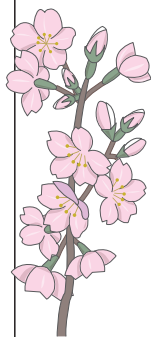


地域支援課長
露木 ひとし

平成六年の春、竹の子学園正門前の畑に植えられたしだれ桜。小指ほどの太さだった幹が二十年という歳月を経て立派な樹木となり、まさしく大地に根を張っています。沢山の花をつけることもなくひっそりと咲いています。この桜の木と共に開所当時から一緒に過ごしてきた皆さんと私、そして竹の子学園は二十歳も年をとってしまつたのですね。過去を振り返る間もなく、突き進んできた感が多くあります。

今年には矢倉岳に登ろうと思います。標高八百七十mの山ですが、子どものころから「おにぎり山」として馴染のある山でした。足柄平野からは常に富士山と比較されてしまう山ですが、塚原から狩野方面に向かう途中、富士山を真裏に隠す場所があります。車で通るたびにその場所が近づくに気持ちが高揚します。

「矢倉岳富士の高嶺を身に背し意気揚々と夕日に映える」これも二十年前に指折り数えて詠んだ歌です。



その他、作業補助非常勤として杉山和夫さん、村越加江さん、荻野千香子さん。

パン工房ハッピーの非常勤調理員として、齋川三奈子さん、非常勤支援員として込山孝子さん。

ホームの非常勤の世話人として安達朱美さん、天野シズ子さん、照井玉枝さん、高橋早苗さん。

相談支援センターエールに小泉愛里さんが新しく加わりました。



看護師
加藤 めぐみ

趣味：写真を撮ること
性格：ポジティブ
一言：また、皆さんと一緒に過ごすことができて嬉しいです。未熟者ですがよろしくお願いします。



3・4寮
生活支援員
岡田 清香

趣味：ハイキング・料理
性格：色々なことに挑戦する
一言：覚えるのに時間が掛かりますが、よろしくお願いします。みなさんとツーデーマーチに出たいです。



1・2寮
生活支援員
府川 康司

趣味：子育て
性格：何でも良く笑う。物は大切にします。
一言：早く皆さんの名前を覚えて楽しく元気な生活が送れるように頑張ります。

新任職員紹介



グループホーム
世話人
小島 弥生

趣味：絵本の読み聞かせ
性格：優しい
一言：毎日笑顔で過ごせたらと思っています。



パン工房
ハッピー
諏訪部美穂

趣味：スポーツ、食べること
性格：明るいところ
一言：精一杯頑張ります。よろしくお願いします。



事務員
渡邊 麻衣

趣味：読書
性格：人から穏やかと言われています。
一言：丁寧に仕事をしていきたいと思っています。よろしくお願いします。

退職職員紹介

この度、非常勤職員の中村豊美さん・小澤光さんが三月で退職されました。お疲れ様でした。

明星会 平成25年度新体制

社会福祉法人明星会

【理事長】 安藤 進



● 障害者支援施設 竹の子学園 【生活介護・施設入所支援】

【施設長（管理者）】 坂井 正志
 【事務長】 磯崎 敦子
 【サービス管理責任者】 小島 彰則
 【短期入所事業窓口】 佐藤 良美

【1・2寮 寮長】 三橋 未希
 【3・4寮 寮長】 内海 直美
 【管理栄養士】 藤澤 智子
 【看護師】 安岡 朋子
 加藤めぐみ

● 竹の子ケアセンター 【生活介護・自立訓練】

【管理者】 坂井 正志
 【サービス管理責任者】 細野真理子

● パン工房ハッピー 【就労継続支援B型】

【管理者】 坂井 正志
 【サービス管理責任者】 安藤 智美

● 竹の子ホーム 【共同生活援助・共同生活介護】

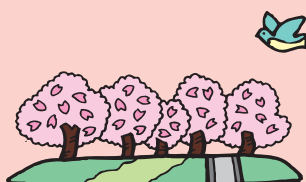
【管理者】 坂井 正志
 【サービス管理責任者】 佐藤 光夫
 清田 聡

● 相談支援センターエール

【管理者】 坂井 正志
 【相談支援専門員】 露木 とし

● 苦情解決

【苦情解決責任者】 坂井 正志
 【苦情受付担当者】 小島 彰則



評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	評議員	監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	理事
石田	松岡	小林	北邨	小澤	石塚	中野	村野	坂井	佐々木	勝又	安藤	真田	真壁	小林	坂井	佐々木	和田	勝又	安藤	進		
久良	実	俊夫	賢雄	治枝	達義	五雄	慶	正志	幸時	完二	進	英孝	一良	俊夫	正志	幸時	信男	完二				

明星会 役員



平成二十五年三月 理事会報告

基本理念

常に利用者の目線に立ち
利用者が安心して安全に過ごせる
事業を行います

運営方針

本年度より「三力年計画」を作成し長期を見据えた計画的・戦略的な法人運営をしてまいります。第Ⅰ期三力年計画の一年目にあたる今年度は、設立以来十九年間で得たことを基に、初心に返り、組織としての基礎固めの年といたします。

- (一) 長い間施設入所を利用されていた九名の方々が、竹の子ホームに移行します。その方々を含め、より多くの方が、地域での安心・安全な生活を実現できるよう、職員配置等、法人として全面的に支援してまいります。
- (二) 「竹の子ケアセンター」定員増にともない送迎車を増やします。
- (三) 「パン工房ハッピー」において、直営の給食提供を行います。

- (四) より多くの方に就労支援サービスを利用していただけるよう、従来のパン製造を発展させながら、新たな生産活動についても検討してきます。

- (五) 「竹の子学園」利用者による公園の美化活動、「パン工房ハッピー」での販売活動及び「竹の子ホーム」利用者の地域活動への積極的参加等により、地域住民として生活をしていくとともに、地域の方々との交流を深めてまいります。

- (六) 「相談支援センターエール」を中心に、行政、福祉事務所及び他の福祉事業所等と連携し、地域福祉の専門的な役割を担っていきます。

- (七) 「ハッピー・ONE・STEP」において、障害者福祉以外の地域福祉活動を行います。

- (八) 職員の資格取得を奨励し、職員の研修を充実させます。また、「スキルアップ&ネットワーク講座」を開催し、地域の福祉従事者の人材育成並びにネットワークを構築します。

〔平成二十四年度 第三回評議員会及び第五回理事会〕が、平成二十五年三月二十六日開催されました。午後一時三十分より評議員会において以下の議題について審議しました。

議 題

議題第一号

定款変更について

法律の改正に伴い以下について改正します。

「障害者自立支援法」→「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」

議題第二号

諸規程の変更について

「就業規則」「パートタイマー等臨時職員就業規則」は休日等を変更、各事業所「運営規程」については、定款同様法律名の変更、竹の子学園、竹の子ケアセンター、竹の子ホームの定員変更、相談支援センターエールの運営規程の追加

議題第三号

平成二十四年度 補正予算について

「竹の子学園」「竹の子ケアセンター」「パン工房ハッピー」「竹の子ホーム」の予算について、補正しました。

議題第四号

第一期三力年計画について

- ① 障害福祉サービス事業の増設
- ② グループホームの増設
- ③ 児童を対象とした放課後等デイサービス事業の新設
- ④ 職員研修制度の確立・人材育成

議題第五号

平成二十五年年度、事業計画について

社会福祉法人明星会の運営方針に従い、事業を行ってまいります。以下の事業については定員を変更します。

- 竹の子学園入所 六十名↓五十六名
竹の子ケアセンター 生活介護 十四名↓二十四名
竹の子ホーム クルールⅠ 六名
クルールⅡ 六名 増設

議題第六号

平成二十五年年度予算について

事業計画に基づき、予算編成をしました。
引き続き午後三時三十分より、理事会が開催されました。
評議員会で出されました意見を踏まえ、すべての議案について、承認されました。

「わかりやすいサービス利用計画」 相談支援センターエール

平成二十六年までに、福祉サービスを
利用されている方を対象に「サービス利
用計画」の作成が義務付けられました。
そんな中、エールでは利用計画に追われ
る毎日で「丁寧な利用計画作成」を望ま
れますが、出来されていないことが正直
なところでは。介護保険が導入された時
の「ケアプラン作成」でも同じような混
乱があったと聞いております。仲間のケ
アマネージャーから聞いていた話がよう
やく身に染みて実感しているところです。
サービスを希望される方の思いを受け
止めながら、サービス実現に向けて利用
調整していく過程は困難なこともありま
すが、しかし新たな人との出会いが楽し
みでもあります。またご本人やご家族か
ら加筆、修正などのご意見を頂けると、
一緒に作成できた喜びに変わります。今
年は、「わかりやすいサービス利用計画」
の作成を目標にして望みます。（露木）

【連絡先】

住 所 小田原市蓮正寺八六九一三
相談支援センターエール
TEL ○四六五―四六―八三六八
FAX ○四六五―四六―八三六九

新ホーム クルールについて

平成二十五年四月一日に竹の子
ホーム「クルールⅠ」ならびに「ク
ルールⅡ」が開所となりました。最
寄りの駅は小田急線蛭田駅となり、
名称の「クルール」（フランス語
には「明るい」「や」輝く」という意味
があります。

現在、クルールでは女性六名の方
の、そしてクルールⅡでは男性六名
の方の生活が各々スタートしていま
す。その入居者一人ひとりに合った
暮らしができるよう、スタッフ一同
で支えていきたいと思っております。

そんな明るさあ
ふれるホームです
ので、近くにお立
ち寄りの際は、ど
うぞお気軽にお越
しください。

（清田）



パン工房ハッピーよりお知らせ

パン工房ハッピーのFAX番号が変
わりましたのでお知らせいたします。
FAX ○四六五―二〇―三〇三六

平成二十四年度 明星会苦情報告

社会福祉明星会では、苦情解決制度に
より苦情の受付・解決を行っております。
二十四年度は五件の苦情が上がりました。

【内容】 支援・連絡について 一件
敷地内侵入 一件 迷惑行為 一件
利用者領収書添付について 一件
利用者間のトラブルについて 一件

【苦情主】 沼田地区住人様 二件
竹の子ホーム入居者・ご家族様 一件
竹の子学園利用者ご家族様 一件
竹の子ケアセンターご家族様 一件

受付をした苦情に対して調査確認し解
決、改善に努めてまいりました。今後と
も忌憚ないご意見を頂けますよう、お願

い致します。

【苦情受け付け担当】 小島彰則

【苦情解決責任者】 坂井正志

【ありがとう善意の気持ち】

匿名様 ありがとうございました。

編集後記

平成二十五年度がスタートしました。
暖かい時期になり、とても過ごしや
すくなりました。利用者の方々も四月
は気持ちウキウキするようで、とて
も素敵な笑顔がされています。そんな
様子を見ると職員も癒されます。今年
度も元気いっぱい明星会をよろしく
お願いいたします。（和田英晴）

テーマ 春

竹の子日和

絵：H・MiSumi
作：J・Ishii

